

報道関係各位

2026年9月25日

株式会社サイキンソー

YKK AP株式会社

サイキンソーとYKK APが協業する
「ヘルスケア・リノベーション」創出プロジェクトが
東京都環境公社の断熱改修アクセラレータープログラムに採択されました
 住環境（断熱）×腸内環境（健康）の可視化により、
 脱炭素と健康長寿を両立するヘルスケア空間のプロデュースを事業化へ

腸内フローラ検査事業を展開する株式会社サイキンソー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：原 洋介、以下サイキンソー）と、YKK AP株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：魚津 彰、以下YKK AP）は、「ヘルスケア・リノベーション」の創出に向け協業しています。この度、両社による『住環境（断熱）×腸内環境（健康）の可視化による「ヘルスケア・リノベーション」創出プロジェクト』が、公益財団法人東京都環境公社が推進する令和8年度断熱改修の新サービス創出に向けたアクセラレータープログラム「断熱改修に関わる企業の新サービスの実証・事業化（1回目）」に採択されましたので、お知らせいたします。

このアクセラレータープログラムは、断熱改修の普及と新サービス創出を目指す官民連携の取り組みです。サイキンソーとYKK APは2025（令和7）年度の同プログラムに参画し、「断熱改修で家族の健康力UP ～腸内細菌叢でわかる健康力～」をテーマに、住宅の「断熱窓」と居住者の「腸内細菌叢（以下、腸内フローラ）」の関係について共同調査を実施しました。その結果、両者の間に関連があることが示唆されました。

今回採択されたプログラムにおいては、昨年に引き続き自宅の快適性と居住者の健康データ（腸内フローラ）の相関について解析を深めるとともに、脱炭素と健康長寿を両立するヘルスケア空間のプロデュースを事業化することを目指します。



■ 背景と目的

東京都は、2050年の「ゼロエミッション東京」実現に向け住宅の省エネ化を推進しています。しかし、断熱効果の認知不足、改修費用、業者選びの難しさなどに課題があり、これらの課題を解決する新サービス創出の支援により断熱改修の普及拡大を目指しています。

そこで、サイキンソーが持つ「腸内フローラ検査技術」と、窓・ドアによる住まいの高断熱化を目指すYKK APの商品や技術を掛け合わせ、住宅の温熱環境の改善が腸内環境にもたらす影響を可視化し、断熱改修の効果訴求、普及拡大を目指します。すでに昨年度の取り組み(※1)を通じて、高い断熱性能が睡眠の質の向上や体調不良の軽減、ひいては腸内細菌に関連があることがデータとして示唆されました。今後は、昨年データの継続分析やさらなる介入調査などにより、断熱改修の価値を単なる「省エネ」から「健康・予防医療への投資」へと再定義します。さらに、住環境改善を通じた生活者のヘルスケア意識の向上と行動変容を促すとともに、新たなヘルスケア空間のプロデュース事業への展開を目指します。

※1 昨年度の取り組みは、以下にプレスリリースとして発信しています。

(2026年8月7日配信) <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000144.000015042.html>

■ 今年度の取り組み内容・事業計画

今年度は、昨年度の成果をさらに発展させ、以下の3つの施策を中心に、実証を進めるとともに事業化を目指します。本プロジェクトの実施期間は令和8年10月から令和10年3月までを予定しています。

1. 腸内フローラ検査を用いた「健康訴求型」断熱窓改修パッケージの実証展開

断熱窓の改修予定世帯および未改修世帯を対象に、設置前後の夏季・冬季に世帯単位で腸内フローラ検査を実施します。断熱窓設置による温熱環境の変化が腸内フローラに与える影響を、実地データとして収集・解析し、エビデンスを構築します。

2. データに基づく工務店向け「腸活・断熱」販促ソリューションの提供

収集した解析データを基に、工務店やリフォーム会社向けに「健康への影響をエビデンスベースで提案できる」営業支援ツールを開発します。これにより、事業者が価格競争から脱却し、高付加価値な提案を行えるよう支援します。

3. 「腸活×断熱」コンセプトのウェルネス施設事業の企画・展開（非住宅領域）

住宅領域で培った知見を、保育所、高齢者施設、温浴施設などの非住宅領域へ拡張します。高い断熱性能（ハード）と、食・衛生などの腸活プログラム（ソフト）を融合させた「腸活ウェルネス施設」の空間プロデュース事業を展開し、独自の企画・認証支援スキームの構築を目指します。

<ご参考>

■ 断熱窓改修について

YKK APIは、住宅の高断熱化を通じた健康・快適な住環境づくりを推進しています。断熱窓への改修は、内窓「ウチリモ」設置の場合1窓あたり約60分、窓交換「マドリモ」の場合は約半日で実施できます。住まいの中で最も熱の出入りが大きい窓を改修することで、「夏涼しく冬暖かい」快適な空間をつくり、ヒートショックなどの健康リスクを低減するほか、光熱費削減、CO₂削減（環境負荷低減）にも貢献します。



- ・内窓「ウチリモ」 <https://www.ykkap.co.jp/consumer/products/window/uchiremo>
- ・窓交換「マドリモ」 <https://www.ykkap.co.jp/consumer/reform/window/replacement/>

■ 腸内フローラ検査「Mykinso」とサイキンソーの取り組みについて

自宅で誰でも簡単にできる腸内フローラ検査「Mykinso（マイキンソー）」は、腸内環境の良し悪しや有用菌、要注意菌について知ることができるサービスです。サイキンソーは、検査やデータを活用し、個人向けだけではなく、医療機関、企業、アカデミア向けに幅広いサービスを提供しています。詳しくは下記のURLをご確認ください。



次世代型
腸内細菌叢検査
(腸内フローラ)

自宅で
出来る！



- ・腸内フローラ検査「Mykinso（マイキンソー）」 <https://mykinso.com/>
- ・研究・解析受託事業 <https://research.cykinso.co.jp/>
- ・健康経営支援 https://cykinso.co.jp/healthcare_support

■ 会社概要

【株式会社サイキンソー】

「細菌叢で人々を健康に」を企業理念に掲げ、腸内フローラをはじめとする常在細菌叢と心身の健康・疾患リスクとの関連を解明し、人々の日常に個別最適な解を提供することで、誰もが自然と健康になれる社会を目指しています。日本人の大規模な菌叢データベースと高度なデータサイエ



ンス技術を活用し、検査サービスの拡張やOEM開発、システム構築支援、匿名加工情報の研究利活用推進など、菌叢データに基づく事業を多角的に展開しています。

- ・会社名：株式会社サイキンソー
- ・設立：2014年11月19日
- ・所在地：東京都渋谷区代々木1-36 -1 オダカビル2階
- ・代表者：代表取締役 原 洋介
- ・主な共同研究先：大阪大学微生物病研究所
- ・HP：<https://cykinso.co.jp/>

【YKK AP株式会社】

YKK APは、「Architectural Products（建築用工業製品）で社会を幸せにする会社。」をパーパスに、安全・快適な住空間を作る「窓」や「ドア」、美しい都市景観をつくる「ビル建材」、アルミの知識や技術を用いた高品質な「アルミ型材（産業製品）」などを提供しています。材料・製造設備・製品までを自社で開発・生産する「一貫生産体制」により、社会課題の解決に貢献する高品質で高性能な建材をグローバルで展開し、持続可能な社会の実現に貢献します。



- ・会社名：YKK AP株式会社
- ・設立：1957年7月22日
- ・所在地：東京都千代田区神田和泉町1
- ・代表者：代表取締役社長 魚津 彰
- ・HP：<https://www.ykkapglobal.com/ja/>

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

株式会社サイキンソー 広報担当

電話：03-5309-2522

メールアドレス：public_relations@cykinso.co.jp

YKK AP株式会社 コーポレートコミュニケーション統括部 広報室

電話：03-3864-2321

メールアドレス：k_ykkap@ykkap.co.jp